



## さいたまトリエンナーレ2016 最新情報のお知らせ

12月11日、無事閉幕！ありがとうございました。

### Topics

さいたまトリエンナーレ2016閉幕:報道関係者のみなさまへ御礼 & ディレクターよりメッセージ

- 1: [閉幕日レポート:大盛況！ 鈴木桃子「Finale: Untitled Drawing Project 2016」](#)
- 2: [閉幕日レポート:大盛況！ 目《Elemental Detection》とスペシャル・フォトシューティング](#)
- 3: [長島確+やじるしのチームの作品《←》を見逃した方へ。集大成がまだ見られます！](#)
- 4: [「さいたまトリエンナーレ2016公式カタログ」絶賛発売中！](#)

### さいたまトリエンナーレ2016閉幕:報道関係者のみなさまへ御礼

さいたまトリエンナーレ2016は12月11日をもって無事に閉幕を迎えることができました。報道関係者のみなさまには、ご理解ご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

### さいたまトリエンナーレ2016閉幕:ディレクター芹沢高志より



2016年12月11日、さいたまトリエンナーレ2016が無事終了いたしました。応援してくださったすべての方に深く感謝いたします。今回のトリエンナーレでは国際芸術祭としての強度を保ちつつ、いかに創造のプロセスを地域に開いていくかに腐心いたしました。さいたま市が取り組む初めての国際芸術祭であったため多くの困難もありましたが、文化施設が集中する巨大都市でも、観光地でもない、私たちの日常的な生活の現場における国際芸術祭の、ひとつの形を提示できたのではないかと自負しています。市民サポーターの活動にも驚くべき力が生まれており、これを次のトリエンナーレにつなげていくことこそ、今後の大きな課題と考えております。

さいたまトリエンナーレ2016ディレクター 芹沢高志

---

**■1:閉幕日レポート:大盛況！鈴木桃子「Finale: Untitled Drawing Project 2016」**

---



鈴木桃子《Untitled Drawing Project》| 2016 photo: TOPPAN

市民のみなさんにご提供いただいた素材で制作したコスチュームを纏ってパフォーマンスをした鈴木桃子

**無に還っていくプロセスを多くの人が目撃。**

会期最終日の14時まで、白い壁面に鉛筆で細密なドローイングを描き続けてきた鈴木桃子。

11月20日以降、鑑賞者は「消す」という制作プロセスに参加してきましたが、深く刻まれたドローイングは残り香のようにうっすらと壁面に残り、まだ形を留めている状況でした。そして、ついに最終日、予定の14時を迎え、「自身の手で作品を“無”に還す」パフォーマンスを行いました。

作家自らがペンキの載ったローラーを大胆にあてると、ドローイングは白い刃物で削られたようにみると分断されていきました。それはまさに、さいたまに生まれ、無に還っていくサイクル(=形のない宇宙)を感じさせるものでした。

この作品の核心であるプロセスをひと目見ようと、長時間にわたり建物外まで長蛇の列が続き、静かに大勢の観客が訪れてくださいました。

---

## ■2: 閉幕日レポート:大盛況!

### 目《Elemental Detection》と スペシャル・フォトシューティング

---



目《Elemental Detection》 | 2016年 Photo: Natsumi KINUGASA

#### 想像をはるかに超えたスケールの作品。

鑑賞上の重要なコンセプトを含むため、終盤まで「撮影不可」、また、来場者に口外についても控えていただきたいという願いをしていたこの作品。公式ウェブサイトでも作品写真を掲載することはできませんでした。初めてお披露目するこの写真は、記録として休場日に撮りおろしたもので、これだけで何が起きているのかわかりますか？ 見ているものがすべてではない、ということに改めて考えさせられた、いや、感じさせてくれる作品でした。そのような稀有なスケールの作品に、最終日も多くの方が驚き喜んでいらっしゃいました。その風景を、写真でご報告できないのが本当に残念です。

しかし！ 多くの方がじっくり作品を鑑賞し、楽しまれた証を公式Tumblrページ「みんなのさいたまトリエンナーレ」にてご覧いただけるようになりました！

#### Elemental Detection スペシャル・フォトシューティングの公開中！！

[公式Tumblrページ「みんなのさいたまトリエンナーレ」](https://saitamatriennale.tumblr.com) <https://saitamatriennale.tumblr.com>

12月15日(木)より、[#みんなのさいトリ](#)で検索いただくと、多くの方が撮影されたすべての目の作品写真がご覧になれます。

---

■3: 長島確+やじるしのチームの作品《←》を見逃した方へ。  
集大成がまだ見られます！

---



長島確+やじるしのチーム《←》から | 2016年 photo: Kazue KAWASE

近所みんなが集まって作った←たち

参加者自らが作ったやじるしを、趣向を凝らした展示で見せるプロジェクト、そのユニークさが鑑賞者を魅了しました。

この作品は太田省吾の戯曲「↑(やじるし)」(1994)シリーズにインスパイアされ、構想されました。参加者自らが、街行く人々を“未来の発見”へ誘うやじるしを作り、市内に展示。すべての←を撮影し、“さいたまのやじるしをめぐる物語”として大宮タカシマヤの階段状ギャラリーに展示公開してきました。さいたまトリエンナーレ2016は閉幕しましたが、12月12日(月)～23日(金・祝)の間、大宮タカシマヤのご協力により開催している、長島確+やじるしのチーム主催の展覧会において、《←》作品をご覧いただくことができます。

《←》

大宮タカシマヤ ローズギャラリー(6F～8F)

展示期間:12月12日(月)～12月23日(金・祝)まで

鑑賞時間:10:00～19:00

主催:長島確+やじるしのチーム



---

#### ■4:「さいたまトリエンナーレ2016公式カタログ」絶賛発売中！！

---

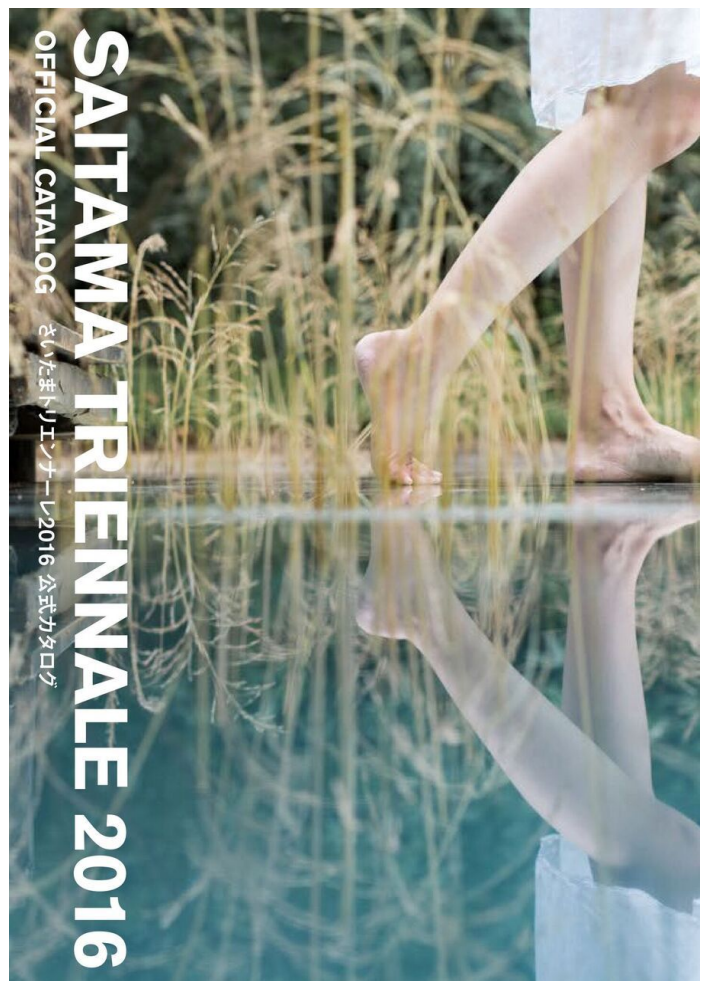
思い出に残ったイベント、  
衝撃を受けたパフォーマンス、感動した作品など、さまざまなことがあった  
「さいたまトリエンナーレ2016」。

公式カタログは、  
A4サイズ108ページのボリュームに加え  
美しい写真満載で、見応え、読み応え十分の一冊。  
部数が限られています、ぜひこの機会にご購入を！

[Amazonでのご購入はこちらから](#)

[www.amazon.co.jp/dp/4802130465](http://www.amazon.co.jp/dp/4802130465)

その他、さいたま市内の書店、全国の主要書店のほか、さいたまトリエンナーレ実行委員会事務局  
(さいたま市役所7階 文化振興課)にて  
ご購入いただけます。



さいたまトリエンナーレ2016公式カタログ

価格:税込2,000円

発売日:12月10日(土)

サイズ:A4(108ページ)

## 参加アーティスト一覧

秋山さやか (日本)	アイガルス・ビクシェ (ラトビア)	チェ・ジョンファ (韓国)
藤城光 (日本)	ダニエル・グエティン (スイス)	日比野克彦 (日本)
ホームベース・プロジェクト (NYC、ベルリン、エルサレム、さいたま) ※出身地ではなく開催地	磯辺行久 (日本)	日本相撲間芸術作曲家協議会 JACSHA (鶴見幸代、野村誠、縦山智子) (日本)
川埜龍三 (日本)	オクイ・ララ (マレーシア)	ロングフィルム・シアター (日本)
アダム・マジャール (ハンガリー)	松田正隆＋遠藤幹大＋三上亮 (日本)	目 (日本)
向井山朋子 (日本)	長島確＋やじるしのチーム (日本)	新しい骨董 (山下陽光、下道基行、影山裕樹) (日本)
西尾美也 (日本)	野口里佳 (日本)	岡田利規 (日本)
大洲大作 (日本)	大友良英＋Asian Music Network (日本)	小沢剛 (日本)
ウイスット・ポンニミット (タイ)	ソ・ミンジョン (韓国)	サイタマ・ミュージック・フォーラム SMF (Saitama Muse Forum) (日本)
ダンカン・スピークマン＋ サラ・アンダーソン (イギリス)	鈴木桃子 (日本)	高田安規子＋政子 (日本)
多和田葉子 (日本)	マテイ・アンドラシュ・ ヴォグリンチッチ (スロヴェニア)	アピチャッポン・ ウィーラセタケン (タイ)
ユン・ハンソル (韓国)		

\* 10カ国より34アーティストが参加／48アートプロジェクトの展示

